

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	生涯学習活動の発表の場としての会食コンサート		
事業主体 (連絡先)	飯田女子短期大学 (0265-22-4460)		
事業区分	教育、文化の振興に関する事業		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	465,312	円 (うち支援金: 344,000	円)

### 事業内容

5月27日に、「春のご当地グルメロックフェス」を短期大学の食堂で開催した。さらに、12月9日に、「吉鍋ロックフェス」を短期大学の食堂で開催した。

ご当地グルメ及び吉鍋研究・調理の評価活動としての投票及び表彰、音楽活動の評価活動としての審査及び表彰・講評を行い、生涯学習活動として参加者の学習活動・成長への動機づけを図った。それと同時に、一つの行事を様々な団体の構成員で作りをあげることを通して、地域の絆を実感させるものとした。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・数多くの学生・生徒・社会人の参加を得ることができ、生涯学習活動としての機能と効果に対する認知(春は飯田女子短期大学、飯田女子高等学校、下伊那農業高等学校、飯田OIDE長姫高等学校が参加し、吉鍋にはこれに飯田風越高等学校、阿智高等学校が加わった。さらに、社会人の参加人数の増加、複数の学校にまたがる団体の参加、メジャーで活躍するミュージシャンを含むプロミュージシャンのゲスト参加があった)と評価を得ることができた。

・幅広い年代(社会人~高校生が演奏や調理に携わり、その親や子ども世代の参加も得られた)の交流・共同学習の場を提供することができた。また、地域の食材を用いた郷土料理の研究や調理には地元企業等の協賛を得ることができ、それを多くの人とともに喫食する機会、場を盛り上げる音楽等のパフォーマンスを行う・観る機会を提供することで、地域の絆・可能性を実感する場を創造することができた。

・調理も演奏も、審査・投票・表彰を行い、調理活動・演奏活動のいずれも生涯学習活動の成果を評価する機会及び地域で活躍してゆく動機付けを行う機会を提供することができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

生涯学習の場として、今後も調理・音楽等パフォーマンスを軸に参加団体の種類を増やす、会場のスケールを大きくする等、発展的により充実した学習の場とさせていきたい。

郷土食を軸に、今後は郷土のさまざまな側面・強みを発揮できる企画として、地域の可能性・地域の絆をより実感・強化することのできる機会としていきたい。



【春のご当地グルメロックフェス】

#### 【目標・ねらい】

- ①生涯学習としての調理・音楽等のパフォーマンスの成果を発表する場とすること
- ②地域の可能性・地域の絆を実感する場をつくること
- ③生涯、地域で活躍してゆけるという希望を与える場とすること
- ④地域活性化の起爆剤となれるよう、一つの行事をさまざまな年齢層、さまざまな団体とともに作りあげる機会とすること

#### ※自己評価【 A 】

【理由】調理団体による郷土料理は大人気・大好評を博し、二時間程度で完食されることとなった。調理団体からも、うれしかった、表彰で自信がついた等の声が寄せられた。音楽・パフォーマンス団体が増加し、開催時間が6-7時間に達するなど、成果発表の場として十二分に活用された。音楽・パフォーマンス団体からも、ぜひまた発表したいとの声が寄せられている。協賛企業からも、今後の協力へのお申し出を頂いている。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある